

事務事業名		美術博物館市民ギャラリー活用事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		美術博物館		事業種別	政策	開始	1 終了		
H28係等名		H28係等名 学芸係		H27係等名		学芸係			
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
		施策	27	文化芸術の振興					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民、高校生、小中学生)。			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういふ状態にするか)	市民の文化芸術活動が盛んになる				圏域住民数(人)	165162		
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	使用する個人・団体数			34	37	40	-	
	成果指標	観覧者数			15000	15560	15000	-	
定性目標									
事業概要	自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人・団体が利用できる。 平成26年度から、使用料の徴収を開始する。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 市民ギャラリーの使用抽選会の実施 2 市民ギャラリーの使用(展示撤収)にかかる準備及び作業のサポート 3 市民ギャラリーの展示内容の告知 4 展示・撤収の作業				1 使用した個人・団体数 3 観覧者数		1 37団体 2 15,560人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		1,382	1,357	1,336	1,359	(そ)美術博物館施設使用料			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		150	370	370	104				
一般財源		1,232	987	966	1,255				
人件費計(千円)②		3,436		0					
正規職員所要時間		600							
臨時職員所要時間		1,200							
総事業費①+②		4,818	1,357	1,336	1,359				
事業内容・目標達成状況の振り返り	これまで無料だった市民ギャラリーの使用料を平成26年度から徴収することにした。その結果、参加団体はわずかに減少し、観覧者数もこれに下がって減少した。しかし、有料化が際立った市民ギャラリー離れにつながった傾向は見られず、市民の創作活動の発表の場としての魅力は損なわれていない。								
改革改善の考え方	①問題点	不特定多数の団体、個人が年間を通じて展覧会場として利用するため、展示壁面が早々に汚れてしまう。							
	②改革提案	何年かに1回の壁紙の張り替えを行う。							